



基本情報技術者試験対策講座 ～資格概要から講座の特長～

基本情報技術者試験とは

基本情報技術者試験は、IPA（情報処理推進機構）が運営する国家試験です。デジタル人材の必要性が強く叫ばれる昨今において、その知識と技能を幅広く学ぶことができる本試験は以前にも増して注目が集まっており、国家試験として人気がある資格試験となっています。

「ベンダー系」と言われる試験と違って、偏りのない知識を身につけることができ、若手エンジニアの登竜門と言われるこの試験です。インフラエンジニアからコンサルタントまで、どのポジションで活躍するにしても必要となる、アルゴリズムといった基礎理論、開発手法、システムの運用など、ITの基本が出題されます。それらのテクノロジー系分野に加えて、IT戦略などのストラテジ系、業務を円滑に進めるための管理を学ぶマネジメント系の3つで試験が構成されています。

講師紹介

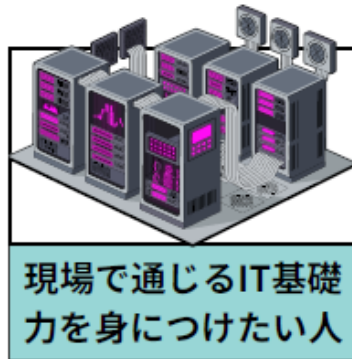


丸山紀代（まるやまのりよ）先生

JavaやPythonといったプログラミング研修から、基本情報や応用情報といった資格試験研修まで、「イメージを使った解説でわかりやすい」と評判の超実力派IT講師。

システム開発会社で組み込み系やWebアプリケーションの開発に携わったあと、IT研修会社勤務を経て独立し、現職。著書に『この1冊で合格! 丸山紀代のITパスポート テキスト & 問題集』（KADOKAWA）がある。

受講対象者の方



新入社員や内定者といった若手エンジニアの学習や文系出身など未経験からエンジニアを目指す方の基礎固めに最適です。また、開発職だけでなく、企画や営業、運用保守といった非技術部門の担当者が、「ITパスポート」から一歩進んで、エンジニアとの共通言語を身につけ、部門間のコミュニケーションを円滑にするための知識を体系的に学ぶ際にも適しています。



講座の特長



合格に向けた 最速学習 カリキュラム

近年の出題傾向を研究して選ばれた厳選過去問によって、ギリギリまで覚えるべき範囲を減らしているので、タイプよく学習できます。

圧倒的図解力の レクチャー動画

動画の内容が、図解されているので複雑な概念や単語も構造化しながらスッキリと理解できます。動画中のまとめを活用することで復習もバッチリです。

問題演習後に チェックする 解説動画

アルゴリズムなどの複雑な問題は文章だけではわかりにくいところもあります。そのような難しい部分をアニメーション付きで視覚的に理解できます。

主な教材の種類



教材	本数	特徴
レクチャー動画	70本	実力派講師による出題ポイントをギュッと濃縮したスキマ時間に活用しやすい学習動画
解説動画	68本	多くの人が苦手にしやすい部分を講師が動画で詳しく解説した問題演習のチェック時に利用できる動画
過去問演習	232問	講師が出題傾向を踏まえて、本当に理解しておきたい問題が厳選されています。

レクチャー動画は、プロの講師が監修しているカリキュラムのため安心してご利用いただけます。スマホやPCのどちらでも視聴することができるので、場所や時間を選ばずに利用できます。問題演習は丁寧な解説文・解説動画がついているため、正解していた場合でも自分の理解が正しかったのかを確認しやすいようになっています。解説動画は縦型になっているため、スマホで利用していても持ち帰る必要がないため、スマホで学習しやすくなっています。

学習の流れ



学習は、2つのパターンがあります。基本情報技術者試験に関する知識がほとんどない方は、①のレクチャー動画の視聴から開始するパターンを選択してください。一方で、仕事で一部試験内容を扱っている方、または合格を最短で目指したい方は、②の過去問演習から開始することをオススメしています。

社会人の学習は、自分自身の経験と結びつけながら新しい知識をいかに効率よく覚えられるかにかかっています。資格試験に関する事前知識の有無で動画から始めるか、演習から始めるかを選んでください。どちらから始めてもShikaku Passでは学習可能です。